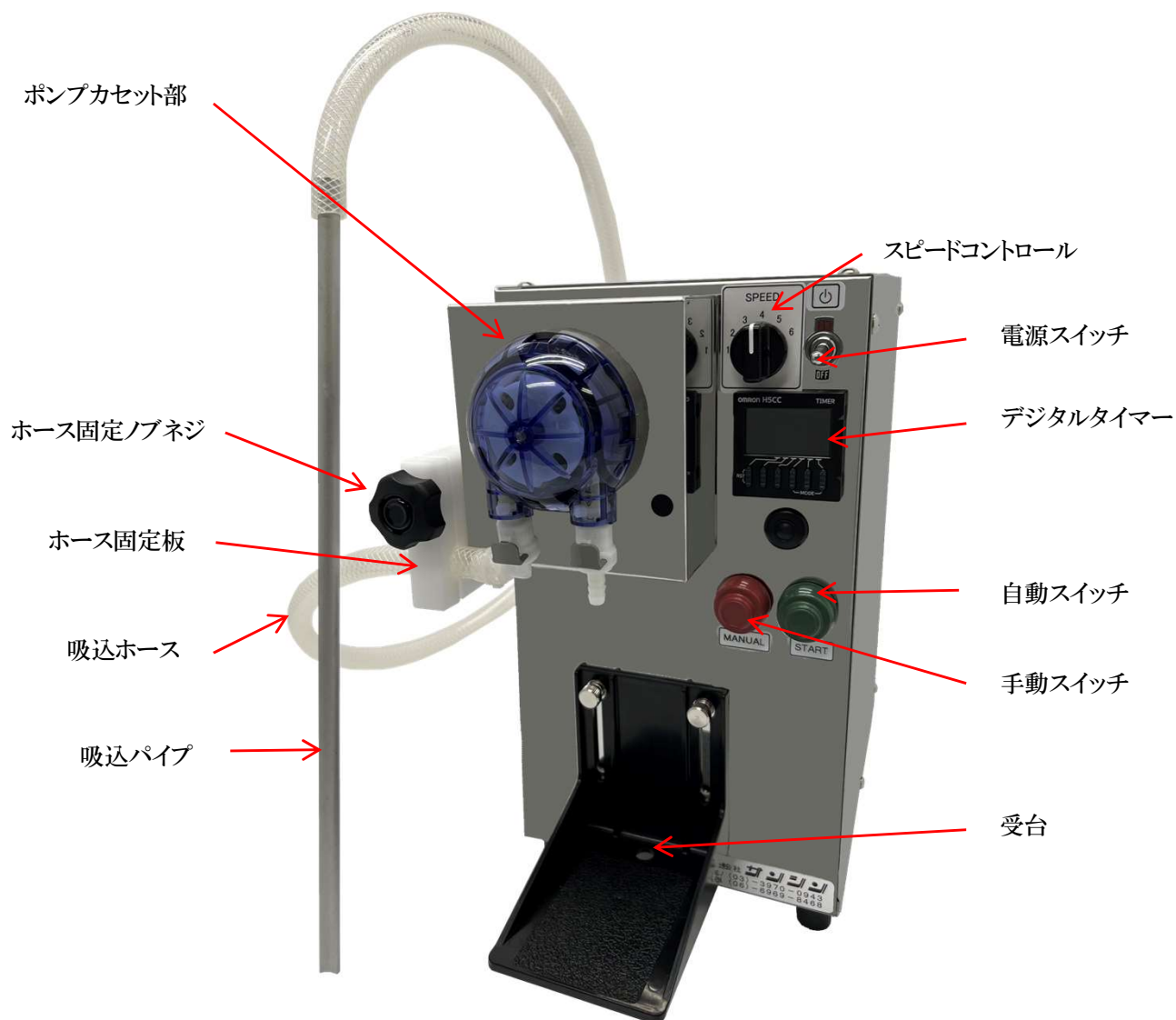
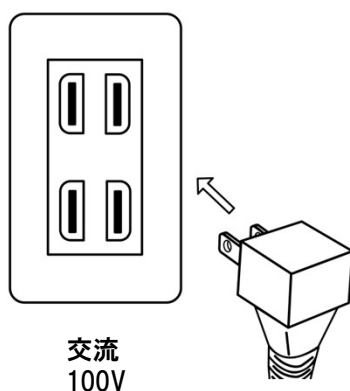


【各部の名称】



【 操作手順 】

- 1) ローラーチューブをカセット部に取り付けます。
(P3 ローラーチューブ交換方法参照)
- 2) 吸込ホースをローラーチューブに接続し、固定して下さい。
(P6 吸込ホースの固定の仕方参照)
- 3) 電源スイッチが<OFF>になっていることを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込みます。



- 4) 電源スイッチを<ON>にします。
- 5) 吸い込みパイプを充填液内に入れます。
(Oリングが入って無いと液漏れの原因になりますので確認して下さい。)
- 6) 手動ボタンを押しホース内のエア－抜きします。(押している間ポンプ作動)
- 7) タイマーを、容器の一回の充填量に合わせます。
(P5 カウンター設定参照)
- 8) 容器に合わせて受台を調整し固定します。
- 9) 自動スイッチボタンを押すとカウンター設定分の量が容器に充填されます。
- 10) 容器を置き換えて、自動スイッチボタンを押す動作を繰り返して下さい。

【ローラーチューブ交換方法】

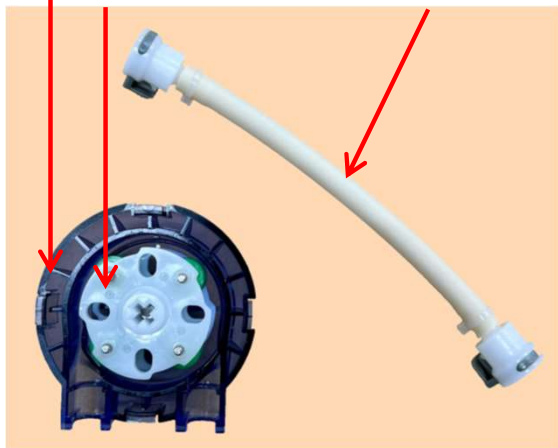
ローター本体の取り外し・取り付けは使用後のお手入れ方法(P8)を参照

回転部本体

①

ローター

ローラーチューブ



②

ローターにローラーチューブを巻きながら本体に入れていきます。

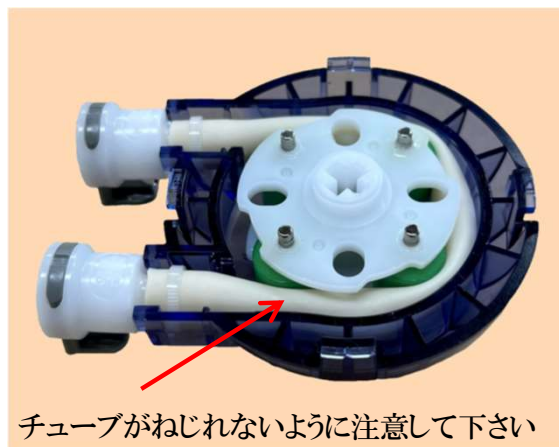


③



④

このような状態にして下さい



⑤



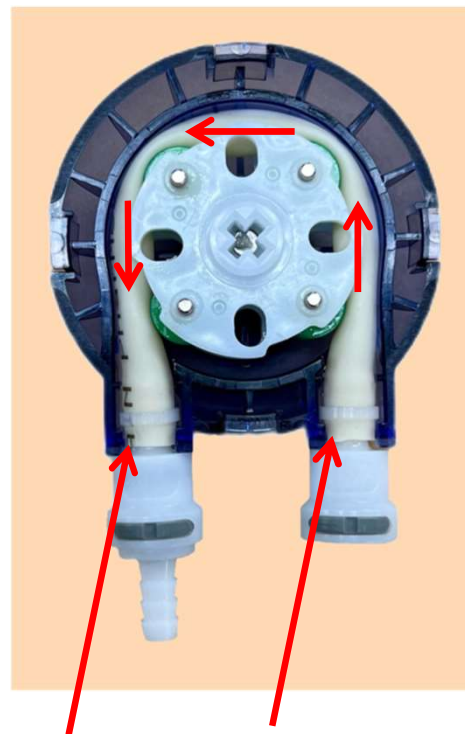
グレーの部分が前面です

⑥



最後に出口側(右側)にノズルを取り付け
機械本体にローター部を取り付けて下さい

【ローラーチューブの扱い方】



ローラーチューブをカセットにセットする場合はチューブを止めている締め付けバンドをカセットの溝にはめ込み抜けないようにしてローラーに回しながら入れます。
(ローラーチューブとローターの接する面に付属のグリスを塗り、滑りをなめらかにして下さい)

ローラーチューブをカセットから外す場合は、ローターを回転させながらチューブを外して下さい。

＝ 注意 ＝

長期使用しない場合は、ローラーチューブが押されたままになり変形してしまいます。変形してしまうと吐出量がバラつく原因になりますので必ず外して保管して下さい。

【タイマー各部名称・設定】

設 定 準 備

- ・タイマー設定前に液体をノズルの先端まで送液してください。

*モード変更が出来ないように、キープロテクトをかけてあります。

但しタイマーのアップ、ダウンは出来ます。(製品出荷時に設定済)

*キープロテクト(誤ってモード等が変更されないようにするモードです)

例) 下記写真は 5.00秒設定

スタートボタンを押しますと 5秒作動します。



タイマー各部名称

← タイマー表示

← 設定表示(5.00秒)

← 設定数値変更ボタン
(アップ、ダウンキー) $\left[\begin{array}{l} + \text{設定数値を上げる} \\ - \text{設定数値を下げる} \end{array} \right]$

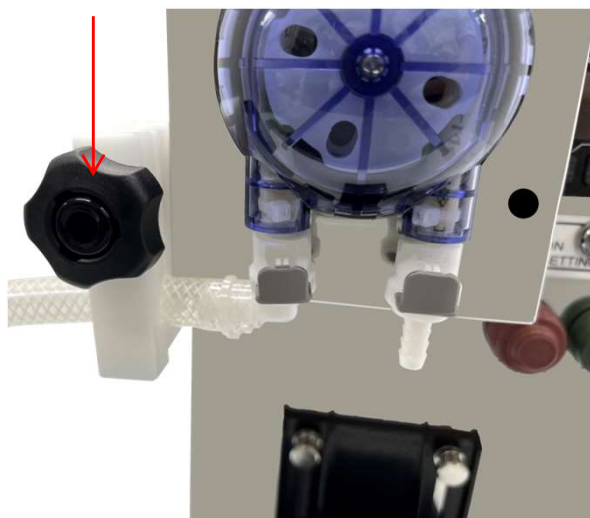
* 小数点の位置変更をご希望の際は、当社までお電話にてお問い合わせ下さい。

【 吸込ホースの固定の仕方】

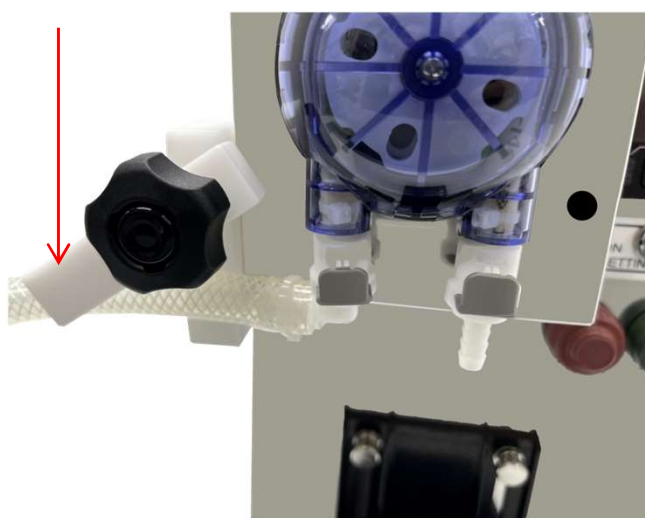
ホース固定板



ノブネジを緩め



固定板をずらす

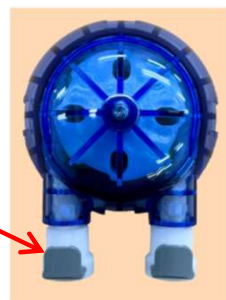


【 ホースの外し方】

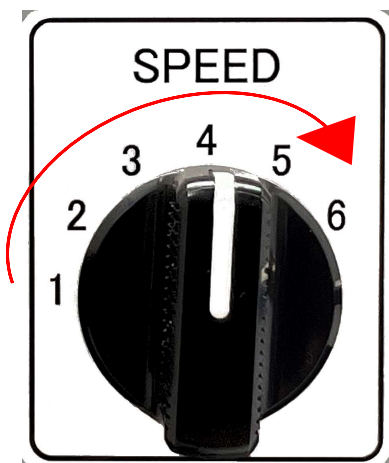
ノブネジを緩めてホース固定板をずらしてから接続カップリングの出っ張りを押しながら吸込ホースを外して下さい。

【 固定の仕方】

接続カップリングに吸込ホースを接続してからホースをホース固定板に挟んでのノブネジを締めて固定して下さい。



【スピードコントロール】



遅い						早い
1	2	3	4	5	6	
LO					HI	

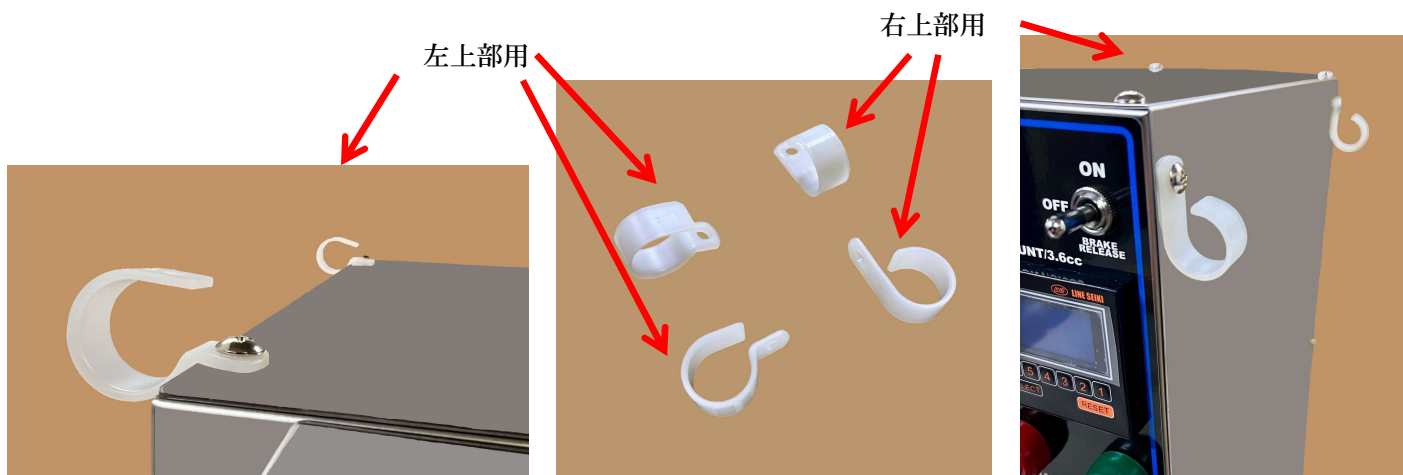
＝ 注意 ＝

- ・コントロール操作時は、回転中に切替しないでください。故障の原因となります。
- ・スピードコントロールは粘性のある場合は調節しないと定量が出ない場合がありますので使用液体により回転スピードを調節してください。

〈 例 〉 水のような流動性のあるものは“6”でも出ますが、より精度を要求する場合は“4”または“5”位が流量も多く、精度も安定します。
又、粘性が強く流動性に乏しい物は“3”位でゆっくり回転すると安定しやすいです。

【充填機の吸込パイプ用フックの固定方法】

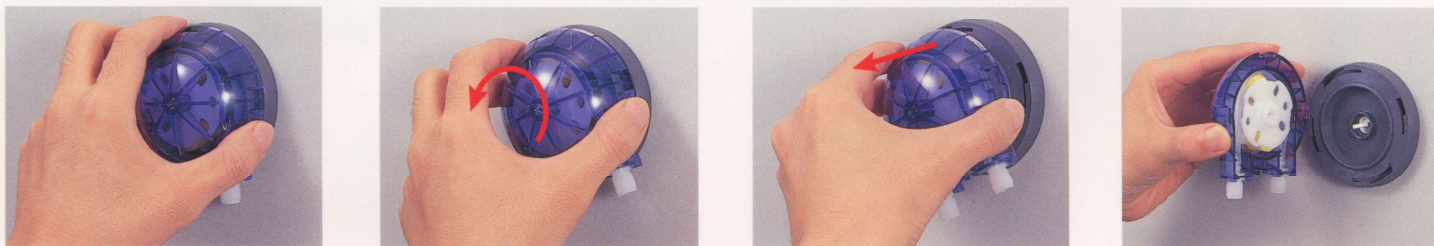
付属されているフックを、お手持ちのドライバーにて本体ボデーの左上部、右側部に、下記写真の様にネジを外して取り付け下さい。尚、不要の場合は取り付けする必要はありません。



【 使用後のお手入れ方法 】

工具を必要としない新機構を採用

カメラレンズの脱着にも使用されているバヨネット機構を採用。チューブ交換が簡単に行えます。



- 上部写真のようにカセット部を左方向に回し、回転が止まるポイントで手前に引き抜くとカセット本体が外れます。

＝ 注意 ＝

セットする時は3ヶ所のポイントを確実に入れて下さい。入っていないと故障等の原因となります。

- ローラーチューブの内部は柔らかいブラシ等で洗浄して下さい。
ローターの滑りが滑らかになるよう付属のグリスを少々塗って下さい。

＝ 注意 ＝

吸込量にバラつきが生じた場合はチューブの交換をして下さい。
又、液体によりチューブが使用出来ない事がありますのでお問い合わせ下さい。